

2023年7月28日



各 位

会 社 名 黒崎播磨株式会社
代表者名 取締役社長 江川 和宏
(コード番号：5352 東証プライム、福証)
問合せ先 総務部長 西山 肇
(TEL. 093-622-7224)

2025 経営計画見直しに関するお知らせ

当社は、2021年3月24日に公表いたしました2025経営計画(2022年3月期から2026年3月期)に関し、今般見直しを行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.見直しの理由

当社グループを取り巻く2023年3月期(以下、2022年度)の経営環境は、世界的な原材料価格の高止まり、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー・食糧価格の高騰に起因するインフレ・金利上昇・急激な円安進行に加え、半導体不足など部品供給網の混乱を背景とした自動車生産の減等による国内外主要顧客での粗鋼生産量の減少等、現行計画策定時から更に大きく変化いたしました。

こうした中、コスト上昇分の販売価格への転嫁、徹底したコストダウンの推進、インド等海外耐火物事業での需要取込み等に鋭意取り組んだことにより、2022年度の連結業績は、現行の2025経営計画における最終年度の数値目標である、売上高1,500億円及び経常利益120億円を前倒して達成する結果となりました。

当社グループは、2025経営計画で掲げた基本方針の下、引き続き、グループの強みを活かしたグローバル戦略の推進、成長分野への積極的な投資の実施等、利益成長に向けた各種取り組みを加速してまいります。上記の環境変化を踏まえた新たな実行目標設定の観点から、今回、2025経営計画の見直しを行うことといたしました。

2.2025見直し経営計画の概要

見直し後の2025経営計画の概要は以下となります。

I. 基本方針

- ・耐火物事業の国内主要顧客である鉄鋼業界においては、主要設備の大規模老朽更新を控える中、人口減少に伴う国内鉄鋼需要の減少、他方では東アジア地域での生産能力拡大に伴う鋼材輸出環境の変化を踏まえ、国内余剰生産能力の削減を進めている。
- ・一方、海外市場においては、インド、東南アジアを中心とした人口増加・経済発展に伴う鋼材需要の持続的な拡大、中国での鋼材品位の高度化が進んでいる。

- ・こうした状況下、国内需要の構造的変化に対応した国内耐火物事業の抜本的体質強化策を実行し、マザー拠点としての競争力を維持・向上するとともに、海外においては当社の高い技術力を活かしたインド・東南アジアでの拡販、パートナー企業との連携による欧州・米州での事業拡大を進め、グローバルな規模での耐火物事業の更なる成長を図る。
- ・ファーンレス事業においては、鉄鋼分野における整備作業領域の拡大を図るとともに、ゼロカーボン化の流れも踏まえ、当社の高い設計・施工技術力を梃子に省エネ工業炉、環境炉分野での拡販を強力に推進する。
- ・セラミックス事業については、半導体製造装置用ファインセラミックスの受注拡大、環境関連分野への断熱材料開発・拡販、5G・IoT等を背景とした電子部品分野での需要増の着実な捕捉、新規分野への積極的な進出を図る。
- ・これら各事業分野での戦略推進と合わせ、事業基盤である安全・環境・防災・内部統制分野でより高次元なレベルを追求するとともに、カーボンニュートラル含めたサステナビリティ課題、SDGs への当社としての取り組みを進め、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する。

II. 主要施策

① 耐火物事業での収益・競争力強化

- ・鉄鋼各社の構造改革と当社最適生産量を踏まえた国内製造拠点の構造改革
- ・高収益品の拡販による高収益体制の確立
- ・製造実力・生産性向上、間接部門効率化・合理化の徹底推進及び人財配置の選択と集中
- ・原料・調達品のBCP対策強化
- ・水素還元高炉・電気炉への転換・高炉簡易改修等顧客動向を踏まえた耐火物開発の推進
- ・グローバルな視点での研究開発体制強化の検討
- ・海外成長市場、成熟市場でのグループ連携強化及びパートナー企業との提携・協業深化による受注拡大

② ファーンレス事業での収益力強化

- ・大型案件の確実な受注、製鋼・コークス整備作業の基盤強化
- ・顧客鉄鋼会社の構造改革を踏まえた整備テリトリー拡大
- ・材工一体の技術力を活かした非鉄を含む国内外顧客への提案力強化による拡販

③ セラミックス事業での収益力強化

- ・半導体製造装置向け量産受注に対応した品質・生産技術力強化、能力増強投資のタイムリーな実行と投資効果の早期発揮
- ・断熱材・ヒーター・電子部品分野での拡販
- ・今後の更なる事業拡大を見据えた最適生産及び研究開発体制の整備

④ 全社的事業基盤の強化と持続可能な社会への貢献

- ・安全・環境・防災・内部統制活動の深化
- ・カーボンニュートラル含むサステナビリティ活動基本方針に基づく諸施策の的確な展開
- ・SDGs への取り組み
- ・グローバル人材の育成・採用強化及び人的資本強化施策の推進
- ・生産性向上に向けたDX推進強化

Ⅲ. 設備投資計画・財務目標

① 設備投資計画

- ・ 現行の 2025 経営計画は、5 年間で 200 億円規模の設備投資を計画しておりましたが、海外事業・セラミックス事業を中心とした更なる成長戦略実現のための案件増等により、同 5 年間で 350 億円規模の設備投資計画へ増額いたします。

② 財務目標

- ・ 主要施策等を推進することにより、ROS 8.3%以上、ROIC9.0%以上を目指します。
Ex. 2026 年 3 月期（2025 年度）連結売上高 1,800 億円、連結経常利益 150 億円

以上